

日本スポーツ心理学会第 50 回大会 優秀発表賞

2023 年 9 月 29 日～10 月 1 日に東京大学にて開催された日本スポーツ心理学会第 50 回大会において、ポスター発表 97 演題、口頭発表 19 演題、合計 116 の一般研究発表がありました。発表賞選考委員会による厳正な審査の結果、以下の通り、最優秀発表賞 1 名、優秀発表賞 13 名が選出され、表彰されました。

最優秀発表賞

PB45 竹添未咲 「“速球待ち”は正しいのか？」

優秀発表賞

- PA12 豊田 隼 「暴力被害者の不適応の様相 —無気力状態に着目した検討—」
- PA17 上野雄己 「レジリエンスとライフスタイルの関連 —1 年間の縦断調査から—」
- PA20 上田 寛 「アスリートのメンタルヘルスに対する心理的安全性の効果検証
—心理的安全性の先行要因・競技特性の違いに着目して—」
- PA31 高野綺海 「柔道競技の小外刈りにおける選択課題の知覚-運動技能」
- PA34 相羽枝莉子 「感情調節方略がバスケットボールにおけるフリースローの
パフォーマンスに及ぼす影響」
- PA40 横田陽生 「サッカー選手の意思決定と内受容感覚
—学習過程と皮膚コンダクタンス反応に着目して—」
- PA46 小笠希将 「意思決定の不確実性を文脈とした運動の記憶」
- PB20 周藤玲奈 「試合中のミスの捉え方とミス後のプレーへの影響の関係」
- PB28 酒井 佑 「アスリート版プレゼンティーズム行動尺度の開発
—身体・心理的健康との関連性の検討—」
- PB31 水野寛太 「左手反復把握法がダーツパフォーマンスに与える影響」
- OA 2 米丸健太 「「動きの不調」の改善・克服を通じた大学生アスリートの
心理的成熟過程の検討」
- OC 2 松竹貴大 「サッカー選手の速い状況判断には強い反応抑制が必要」
- OD 3 女川亮司 「運動意思決定における利得最大化行動を妨げる主観的態度」

以上